

大阪市役所医師会報

発行 大阪市役所医師会 〒540-0008 大阪市中央区大手前2丁目1-7 大阪赤十字会館6階 (一財)大阪環境保健協会内 TEL (06) 4792-7070

No.147 2023年(令和5年)5月

巻頭言

大阪市役所医師会 MVP2022 決定!

大阪市役所医師会会長 細井 雅之
(大阪市立総合医療センター糖尿病内科部長)

大阪市役所医師会は大阪市に勤務する医師(大阪公立大学を除く)を会員とする団体です。昨年「みんなが輝くダイバーシティな医師会」をめざして活動しております。その活動の一環として、昨年度MVPを設立しました。MVPといえば、大谷翔平選手のようにMost Valuable Playerですので最優秀を一人となってしまいます。代議員の先生から「医師の仕事の多様性のなかで、優劣はきめられない。」と、ご意見をいただき、MVPをMedical



●今号の
主な内容

巻頭言	1頁
大阪市役所医師会MVP2022受賞者の声(第1報)	4頁
市民公開糖尿病ゼミナール開催報告	7頁
十三市民病院糖尿病フェスタ開催報告	9頁
レジデント・研修医研究支援規定及び細則	13頁
令和4年度(第68回)市医学会長賞等受賞者	15頁
大阪市医学会例会年間予定	17頁
代議員会報告(令和4年10月~5年3月分)	18頁
お知らせ・編集後記	23頁

Valuable Personとして、各部門から数名選ぶようにしました。臨床、市民活動、後継者の指導に寄与した医師会員を顕彰する「いいね制度」をつくることで、会員の労をねぎらうとともに、働き甲斐のある職場づくりを目指したいと思っています。部門としては、研修医部門、専攻医/レジデント/シニアレジデント部門、病院部門スタッフ、行政部門スタッフ(スタッフ部門は数名のチームも可)として、全会員からグーグルフォームをつかってのスマホからの推薦としました。推薦された先生に対し、代議員会の中の「MVP選考委員会」の委員によって「接遇、医療活動、チーム医療、自己研鑽、研究、指導、市民への貢献、将来性、獲得投票数」の項目で点数をつけることで選出しました。

第1回のMVP2022は以下の先生に決定いたしました。おめでとうございます。

専攻医/レジデント/シニアレジデント部門

山田 直紀 先生	総合医療センター小児脳神経内科	シニアレジデント
遠谷 寛人 先生	総合医療センター眼科	専攻医

病院部門スタッフ

林 和憲 先生	十三市民病院整形外科医長
白野 倫徳 先生	総合医療センター感染症内科部長
清水 貞利 先生	総合医療センター副院長兼医療安全管理部長

行政部門スタッフ

國吉 裕子 先生	保健所北部保健医療監兼北区役所医務主幹、 市立弘済院附属病院整形外科担当部長
津田 侑子 先生	保健所医務副主幹、東成区役所医務副主幹

スタッフチーム部門

大阪市保健所コロナ対策 保健所

当、医師会では、他に以下のような制度で、会員先生に対して応援していこうとしています。ダイバーシティ医師会として、多くの先生のお役に立てればと思っております。

●大阪市役所医師会学術集会 優秀演題賞

毎年8月に学術集会を行い、日頃の研究や、活動内容を発表いただき、会員相互の活動を知る機会にもしています。優秀発表者には表彰も行っていきます。また、学術集会での発表者にはMVPにおいても高得点を付与するようにしています。

●レジデント、シニアレジデント、専攻医論文作成支援、学会出張支援

レジデント研究医を応援するために、医学研鑽のための研究を行い、論文作成や学会出張した場合に支援金を支給する制度を令和3年度より開始しています。

この他に、以下の賞も大阪市医学会に設立されています。当医師会も共催して資金援助しています。ぜひ、すぐれた論文発表された先生はご応募ください。

- 鈴木衣子賞（副賞100万円）；大阪市医学会に属されており、世界的にすぐれた業績をあげておられる50歳未満のもの（教授は除く）
- 大阪市医学会賞（副賞10万円）；大阪市医学会で発表されたすぐれた発表チーム

このように、大阪市役所医師会では、すぐれた論文発表をされている、スタッフでない先生の論文作成費を支援し、大阪市役所医師会学術集会での優秀発表者への優秀演題賞の進呈を行っています。すぐれた論文には大阪市医学会賞、そして鈴木衣子賞の推薦をいたします。（選考委員には大阪市役所医師会の会員も選ばれています）また、論文にはならないような地道な活動、奉仕活動、後輩の指導など「いいね」と思われる先生にはMVPをお贈りすることで、みんなが輝ける医師会を目指したいと思います。

大阪市役所医師会 MVP2022 受賞者の声 (第1報)

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と向き合った3年半」



大阪市立総合医療センター
感染症内科部長
白野 倫徳

この度は栄えある賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。

当院は感染症指定医療機関として、2020年1月よりCOVID-19患者さんを受け入れてまいりました。この3年半は大まかに、(1)治療薬やワクチンはなく、マスクやガウン、消毒薬など診療材料も不足し、不安を抱えながら手探りで診療にあたった時期(第1～3波)、(2)患者さんが次々と重症化し、亡くなっていった時期(第4～5波)、(3)治療薬やワクチンの普及により重症者は減ったものの、感染者数は激増し、感染対策に追われた時期(第6波以降)に分けられます。

当院は全職員を挙げて向き合ってまいりました。十三市民病院も専門病院としてきわめて重要な役割を果たされました。行政関係各位にも大変お世話になりました。すべての職員が苦しい想いをされました。今回、私が代表で受賞いたしました。全職員の努力に対していただいた賞であると理解しております。

本稿執筆時、COVID-19は5類感染症に移行しようとしておりますが、ウイルスの厄介さは変わりありません。これまでを振り返り、根付いた感染症対策の文化は維持しつつ、次に訪れる新興感染症に備え、今後も精進してまいります。

大阪市役所医師会 MVP2022 受賞者の声 (第1報)

「大阪市役所医師会いいね制度「MVP2022」を受賞して」



大阪市立総合医療センター
副院長兼医療安全管理部長
清水 貞利

このたびは大阪市役所医師会いいね制度「MVP2022」に選出頂きありがとうございます。医療センターに前期研究医から勤務し今年で24年目となります。現在は肝胆膵外科で診療をおこないながら、医療安全業務と副院長業務を担当しています。医療安全は、安全に医療を提供することを第一に考えていますが、医療の委縮を招かないことも重要であり、悩みの尽きない業務ですが、近年の医療には欠かせない重要な業務であると考えています。副院長業務は多岐にわたりますが、当院の医療機能や果たすべき役割を考えながら、対応するように心掛けています。肝胆膵外科の業務はやはり手術がかなめと思っています。肝胆膵の手術をおこなうには繊細であることが重要で、治療成績に直結すると考えています。手術指導はかなり厳しくなっているようにも思いますが、後輩にはこの手術の考え方をしっかり伝えたいと思っています。これからも皆さんとのコミュニケーションを大事にして、役割を果たしていきたいと思っています。

大阪市役所医師会 MVP2022 受賞者の声 (第1報)

「大阪市役所医師会いいね制度「MVP2022」を受賞して」



大阪市保健所
北部保健医療監兼北区役所医務主幹
市立弘済院附属病院整形外科担当部長
國吉 裕子

この度は大阪市役所医師会第1回「いいね」Medical Valuable Person2022を頂戴し、本当に嬉しく思います。

健康危機管理は保健行政の役割ですが、2019年に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより保健所は嵐の中の小舟の如く翻弄されました。行政医師は主に入院調整業務に関わりました。当初は限られた人員で対応していたのでオーバーワークとなり現場は疲弊しました。他部局からの応援をいただくことで徐々に体制が整いましたが、3年を超える長い戦いとなりました。この間、行政医師全員が辛抱強く、精一杯対応してきたことを評価していただいたのだと思います。

コロナ対応を通じてこれまで以上に地域医療機関と行政の連携の重要性が高まりました。

市役所医師会の先生方にはコロナ診療に携わっていただき感謝申し上げます。またクラスター対策についてはOIPCネットワークの活動として総合医療センター、十三市民病院のICD、ICNの皆様は病院、施設の訪問指導をしていただき心から感謝しております。

5類感染症への移行に伴う体制整備という新たな課題が待っています。今後とも保健行政へのご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民公開糖尿病ゼミナール WEB
「ためしたカッテン2022」
「糖尿病最新情報」

令和4年11月7～21日

大阪市立総合医療センター糖尿病内分泌センター糖尿病内科 細井 雅之

11月14日は国際連合総会2006年12月に定められた「世界糖尿病デー World Diabetes Day」であり、全世界で、糖尿病撲滅のための啓蒙活動が行われます。日本糖尿病協会もこの日を中心として、「糖尿病週間」として、全国で、街頭キャンペーン、血糖測定活動、患者会活動などを毎年、繰り広げています。

当院でも、2011年から、市民公開糖尿病教室として、NHK「ためしてガッテン」を見習い「ためしたカッテン」を11月14日前後に行ってきました。例年は講演と運動療法、バーチャルバイキング、血管年齢体験コーナーを行ってきましたが、2020年から新型コロナ禍のため、市民参加型講演は中止し、WEBにての講演に切り替えました。今年は「最新情報2022」として、①医師による「週に1回投与の新薬」、②管理栄養士による「骨太レシピ実演」、③薬剤師による「最新薬物療法」、④糖尿病療養指導士看護師による「どこでもできる運動療法」実演、をビデオ収録し、病院ホームページWEB上で2週間公開しました。247回の動画再生でした。(昨年の322回より減ってしまいました。反省しております。) 現在も、糖尿病外来待合モニターで再生し視聴いただいています。

大阪市役所医師会からは助成金をいただき、運動実演用パンツを購入させていただきました。ご助成いただきました大阪市役所医師会に対して、改めて厚く御礼申し上げます。

大阪市立総合医療センター

市民公開糖尿病ゼミナール ～ためしたカッテン2022～

共催：大阪市役所医師会
DM net ONE



糖尿病の最新情報 2022

視聴日時

2022年11月7日(月) 12:00

～ 2022年11月21日(月) 12:00

視聴方法



①病院のホームページへアクセス

大阪市立総合医療センター

検索



②左側のQRコードからアクセス

③下記視聴用URLを直接入力

<http://onl.tw/qDdEWP8>

プログラム

【講演】ここまで進んだ!週1回の治療法

【講演】糖尿病のくすりの話 ～特徴と注意点～

【運動実践】いつでもどこでも!運動療法

【講演・レシピ紹介】簡単!骨太レシピ



医師:細井 雅之

薬剤師:林 梨沙

看護師:田中 愛 他

管理栄養士:八田 茜月



お問合せ 大阪市立総合医療センター
地域医療連携センター

〒534-0021
大阪市都島区都島本通2-13-22
TEL 06-6929-1221 (代表)

DM
net
One

「第14回糖尿病フェスタ」報告

大阪市立十三市民病院 糖尿病内分泌内科 日浦 義和

11月14日は、世界的に広がる糖尿病の脅威に対して、1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定、2006年12月に国際連合に認定された「世界糖尿病デー」です。当日は世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンが行われています。現在では多くの病院で行われていますが、当院は他院に先駆け、2009年より一般住民向けの予防啓発イベント「糖尿病フェスタ」を開催し、今回で14回目を迎えました。①地域住民に対し糖尿病の予防啓発を行い糖尿病に対する知識・理解を深め個々の健康増進に役立てる。②病院広報活動の一環として、当院に関心をもち受診しやすい環境を作り、病院の知名度の向上を図る。③本イベントを企画運営することにより、スタッフの疾患に対する知識の向上、チーム医療への意識を高めるとともに、各職種間の団結を強固にする。これらを目的に「糖尿病フェスタ」を開催してきました。日頃から医師、看護師、栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師等の各職種で構成されたDCT（Diabetes Care team）で糖尿病チーム医療を実践し、「糖尿病フェスタ」もDCTが中心となり企画、運営を行ってきました。

しかし当院は2020年5月1日より日本初のコロナ専門病院として中等度の患者さんの治療にあたってきました。そのため2020年と2021年は、参加型イベントとして中止せざるを得ず、そのかわりに理学療法士が運動療法の実際のやり方について実演した内容、医師の講義をまとめた動画を作成し病院内で流しました。他のDCTメンバーもそれぞれのテーマに沿った内容を冊子にまとめて配布しました。2022年4月の段階では、第6波は収束傾向でしたが、開催予定の11月の感染状況が予想できず、開催方法について決められない状況でした。DCTのメンバーで開催方法を検討しました。その結果、参加型のイベントを開催することを決定しました。コロナ収束に向けて、コロナ専門病院であるからこそ、十分な感染対策を行いながら開催する意義があるのではと考えました。2009年から「糖尿病フェスタ」を開催してきましたが、その間にかかわるスタッフも変わり、「糖尿病フェスタ」を経験していないスタッフが増えてくるため、今後の運営するための経験値が下がることも懸念しました。

そうした事情を踏まえ、2022年の開催は参加型のイベントとしました。感染対策については院内ICTと相談、完全予約制として、人数の制限を行うこととしました。第14回糖尿病フェスタのテーマは、「あなたの健康管理を応援します～もう一度つながろう～」と決定し、11月11日14時から16時に開催しました。医師からは、セルフケアの重要性、看護師より、血糖測定を行い、血糖値の変化についての説明、臨床検査

技師より、実際に頸動脈エコー検査を体験してもらい血管病変について説明してもらいました。薬剤部より内服薬やインスリンについての説明、栄養部より正しい食事の重要性等について説明してもらいました。以前に比べると参加者は少ないなかでも、参加者へのアンケートでは好評を得ました。

今回の「糖尿病フェスタ」の報告は、本年5月11日から13日に鹿児島で行われる第66回日本糖尿病学会年次学術集会で発表させていただきます。最後に、糖尿病フェスタを運営するにあたっては大阪市役所医師会にご後援をいただきました。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

大阪市立十三市民病院
第14回 糖尿病フェスタ

あなたの健康管理を応援します
～もういちどつながろう～

主催：大阪市立十三市民病院糖尿病ケアチーム・淀川校友会
後援：大阪市役所医師会

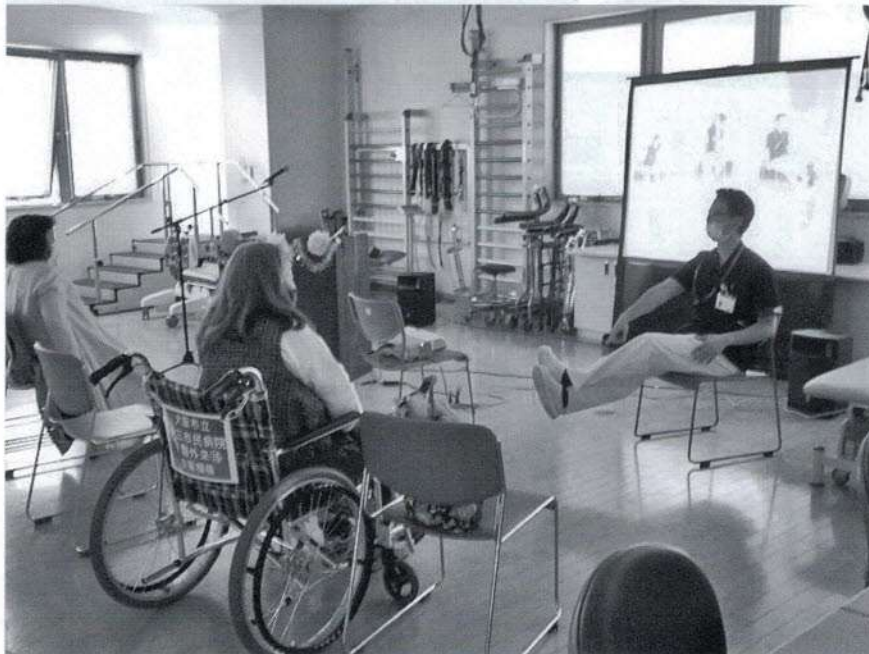
配布した冊子表紙（46ページ）



配付したバッジデザイン



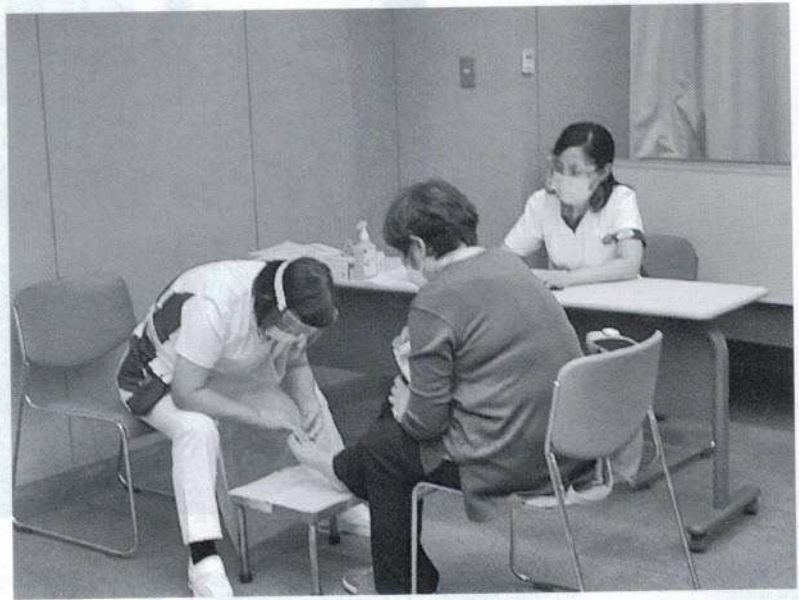
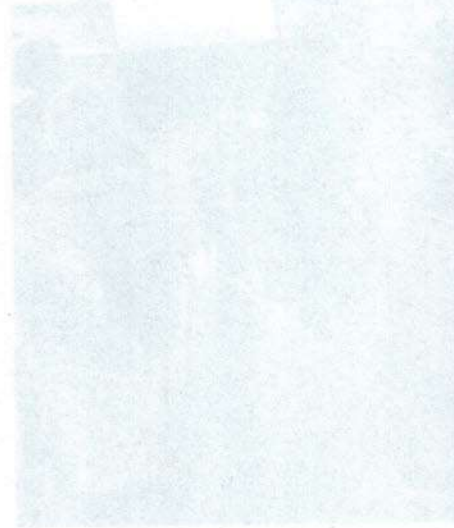
医師の講演



運動療法の実践



血糖測定



フットケア



頸動脈エコー

レジデント・研修医研究支援規程

大阪市役所医師会

(目的)

第1条 大阪市役所医師会員のレジデント・臨床研修医に対し、医学研鑽のため大阪市役所医師会として支援することを目的とする

(所管)

第2条 この支援事業は大阪市役所医師会に設けられたレジデント・研修医委員会で所管する

(支援内容)

第3条 医師としての医学研鑽のための研究を行った場合、以下に該当する項目について支援金を支給する

- ① 論文作成支援
- ② 学会出張支援

(基準・対象)

第4条 第3条にある支援内容に対して、原則として年1回支援を行う。対象者は、大阪市役所医師会に所属し、年会費を完納している会員のうち、以下の基準を満たす者とする。なお、詳細は細則により、レジデント・研修医委員会で決定する

- ① 論文作成支援
臨床研修医、専攻医、シニアレジデント及びこれに準ずる資格を持つ会員が、執筆する論文（筆頭論文）に対して支援金を支給する。
- ② 学会出張経費
大阪市役所医師会に所属する臨床研修医、専攻医、シニアレジデント及びこれに準ずる資格を持つ会員の学会等への参加のための交通費及び学会参加費。

(決定)

第5条 支援の可否は、細則に定める方法でレジデント・研修医委員会、学術委員会から指名された論文審査委員会で審査、決定を行い、代議員会で承認する。

2 承認後、事務局より申請者に支援の可否をメールで通知する。

(支給)

第6条 支援を許可された研究者は、支給方法をメールで事務局に申請する。

2 事務局は申請者に送金する

(規程の変更)

第7条 この規程の変更は代議員会の過半数の同意を必要とする。

(附則)

- 1 この規定は、平成28年4月1日より施行する
- 1 この規定は、令和4年1月1日に改正する
- 1 この規定は、令和4年6月28日に改正する

レジデント・研修医研究支援規程細則

(論文に関する事項)

対象：大阪市役所医師会（以下、「市役所医師会」という）に所属する臨床研修医、専攻医、シニアレジデント及びこれに準ずる資格を持つ会員

申請方法：論文執筆を計画した段階で、市役所医師会代議員もしくは所属長（診療科部長等）を通して事務局に申請をおこなう。

申請時に必要な報告事項：標題、著者名、要旨、投稿予定雑誌名、英文校正料や掲載料等の必要経費見込み額

支給限度額：邦文誌：2万円まで、英文誌：5万円まで

審査：申請があれば事務局で応募資格を確認し、レジデント・研修医委員会、学術委員会から指名された審査委員会で随時審査をおこなう。論文審査委員会は、市役所医師会代議員会で審査の報告をおこない承認をえる。結果は研究者及び申請に関わった市役所医師会代議員もしくは所属長（診療科部長等）に事務局より連絡する。

支給方法：申請および審査は計画段階でおこなうが、支給はアクセプトの段階とする。

支給までの手順：アクセプトが確認できる資料を事務局に提出、レジデント・研修医委員会で確認の後、事務局が指定口座に振り込む。

その他の規定：・査読規定のある医学雑誌

- ・年間1人につき1論文とする。1診療科につき2論文以内
- ・支援が決定した論文の内容に関しては市役所医師会学術集会で発表する
- ・論文内に市役所医師会の支援を受けたことを記載する

(学会出張経費に関する事項)

対象：市役所医師会に所属する臨床研修医、専攻医、シニアレジデント及びこれに準ずる資格を持つ会員（大阪市民病院機構に所属する臨床研修医、専攻医、シニアレジデントは、市民病院機構の補助があるため認めない）

申請：所属する代議員に申請する。様式は別途定める。

期間：機構と行政の格差解消までの期間とする。

支給：決定次第、金額指定口座に振り込む。（対応は事務局で行う）

実費弁済を基本とするが、機構と同一条件で合理的な方法をとること
旅費の基準は大阪市の規則を準用する。また、出張先は国内に限定する。

その他の規定：別に所属、あるいは主催学会等から学会出張等の支出が有る場合は、他方を優先する。

(その他事項)

・この事項については、総務、レジデント・研修医委員会、学術委員会、ダイバーシティ推進働き方改革委員会が共同して対応する。

・この細則の変更については、関係委員会の委員長の合議により決定する。

・この細則は令和4年1月1日より施行する。

・この細則は令和4年6月28日より施行する。

令和4年度 大阪市医学会 第1回 鈴木衣子賞・第68回 学会賞 受賞者

令和4年度の大阪市医学会 鈴木衣子賞論文が1編、学会賞が3編選考されました。

【大阪市医学会 鈴木衣子賞】

氏名・所属

佐野宗一 (大阪公立大学 大学院医学研究科 循環器内科学)

研究題目

血液の体細胞変異と心不全についての研究

代表論文 掲載誌および発刊年

① Tet2-Mediated Clonal Hematopoiesis Accelerates Heart Failure Through a Mechanism Involving the IL-1 β /NLRP3 Inflammasome

Journal of American College of Cardiology 2018;71:875-886

② CRISPR-Mediated Gene Editing to Assess the Roles of Tet2 and Dnmt3a in Clonal Hematopoiesis and Cardiovascular Disease

Circulation Research 2018;123:335-341

③ Hematopoietic Loss of Y Chromosome Leads to Cardiac Fibrosis and Heart Failure Mortality

Science 2022;377:292-297

【大阪市医学会 学会賞】

氏名・所属

杉本敦史 (大阪公立大学 大学院医学研究科 消化器外科学)

奥野倫久 (府中病院 外科)

三木友一郎・辻尾 元・瀬良知央

(大阪公立大学 大学院医学研究科 消化器外科学)

山本百合恵 (大阪公立大学 大学院医学研究科 癌分子病態制御学)

榊山周平 (大阪市立総合医療センター 消化器外科)

西村貞徳 (ワイルコーネル医科大学 病理検査学)

黒田顕慈 (大阪市立総合医療センター 消化器外科)

梅野真吾 (PL病院 外科)

丸尾晃司・笠島裕明 (大阪公立大学 大学院医学研究科 消化器外科学)

大平雅一 (馬場記念病院 外科)

八代正和 (大阪公立大学 大学院医学研究科 癌分子病態制御学)

論文題目

EMMPRIN in Extracellular Vesicles from Peritoneal Mesothelial Cells Stimulates the Invasion Activity of Diffuse-type Gastric Cancer Cells

(腹膜中皮細胞由来の細胞外小胞に含まれるEMMPRINはびまん浸潤型胃癌細胞の浸潤能を促進する)

掲載誌および発刊年

Cancer Letters 2021;521:169-177

氏名・所属

長谷川樹・平良庸子・皆谷 忍・三野俊和・武田景敏・伊藤義彰

(大阪公立大学 大学院医学研究科 脳神経内科学)

論文題目

In Vivo Dynamic Movement of Polymerized Amyloid β in the Perivascular Space of the Cerebral Cortex in Mice

(生体マウス脳血管周囲腔におけるアミロイド β 重合体の動態)

掲載誌および発刊年

International Journal of Molecular Sciences 2022;23:6422

氏名・所属

島崎覚理

(PL病院 放射線科)

植田大樹

(大阪公立大学 健康科学イノベーションセンター

スマートライフサイエンスラボ)

Antoine Choppin

(エルピクセル株式会社)

山本 晃・本条 隆

(大阪公立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学)

島原佑基

(エルピクセル株式会社)

三木幸雄

(大阪公立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学)

論文題目

Deep Learning-based Algorithm for Lung Cancer Detection on Chest Radiographs Using the Segmentation Method

(セグメンテーション法を用いた深層学習による胸部X線画像における肺癌検出)

掲載誌および発刊年

Scientific Reports 2022;12:727

大阪市医学会例会年間予定（普通演題のみ）

令和5年度（2023）

開催月	例会予定 年6回 第3木曜				編集委員会
	開催日	場所	普通演題 申込み締切日	当番教室 (変更あり)	(年4回) 4・6月/第2火曜 11月/第4火曜 1月/第2火曜
4月	*	*	*	*	4月11日（火） 16:30～
5月	第537回 5月18日	4F 大講義室	4月5日（水）	癌分子病態制御学 消化器外科学 乳腺外科学	*
6月	*	*	*	*	6月13日（火） 16:30～
7月	第538回 7月20日	4F 大講義室	6月2日（金）	肝胆膵外科学	*
8月	*	*	*	*	*
9月	*	*	*	*	*
10月	第539回 10月19日	4F 大講義室	9月5日（火）	心臓血管外科学 呼吸器外科学 小児外科学	*
11月	第540回 11月16日	4F 大講義室	10月4日（水）	視覚病態学	11月28日（火） 16:30～
市医学会の受付は「普通演題のみ」となりますのでご注意ください。					
(平成22年度より、例会において学位論文の発表をする方は、学位審査を同時にすることになりました)					
12月	*	*	*	*	*
1月	第541回 1月18日	4F 大講義室	12月5日（火）	耳鼻咽喉病態学 頭頸部外科学	1月9日（火） 16:30～
2月	第542回 2月1日	4F 大講義室	1月9日（火）	脳神経外科学	*
3月	第2回鈴木衣子賞 ・第69回学会賞 3月21日（未定）	4F 大講義室	*	*	3/18頃 メール審議予定

○上記日程は開催予定ですので、当番教室等変更される場合があります。

なお、内容の要旨・抄録の提出日については市医学会までお問い合わせ下さい。

○大阪市医学会事務局（月曜～金曜）の受付時間はAM.9:30～PM.5:00です。

問い合わせ先 大阪公立大学医学部学舎12F 担当：百々

FAX&TEL：06-6645-3782

Email:dodo@omu.ac.jp（当面の間使用。変更あり）

大阪市役所医師会 令和4年10月代議員会議事録

と き：令和4年10月25日（火） 午後7時～7時50分

ところ：総合医療センター さくらルーム

出席者：細井 雅之 半羽 宏之 根引 浩子 上川 禎則 吉田 葉子
齋藤 三佳 清水 貞利 藤丸 李可 村田佳津子 中井 隆志
藤野 光洋 日浦 義和 鈴木 真司 廣川 秀徹 金本 元勝
出雲谷恭子 山口 利昌 金本 巨哲（18名）
堂免 荘八 山下 直子（事務局）

委任状提出：

温井めぐみ 八木 敬子 寺川 由美 岡田めぐみ 平林 円
栗原 敏修 宮保 浩子 中田 真一 山上 啓子 天羽 清子
檜垣 史郎 日高 典昭（12名）

〈委員会報告〉

- ・会長報告
- ・委員会報告

○広報委員会

会報：11月中旬発行予定。発行部数調査を再確認中

○学術委員会

今年の学術集会の経験を踏まえ検討①演題募集日程②不足備品充実

○論文審査委員会

今年度申請2件委員会で審査し承認

〈議題〉

- 1) 大阪市役所医師会健闘賞、会長賞 選考規約案 / 選考委員会について
これまでの意見を踏まえ再度、見直し内容を変更
- 2) 在阪5大学医師会役員・2行政医師会役員との懇談会について
- 3) 市役所医師会後援等依頼案件について
 - ・大阪市民公開講座（WJOG・西日本がん研究機構） 名義後援
 - ・糖尿病フェスタ（十三市民病院） 後援支援
 - ・かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修（北斗会） 名義支援

大阪市役所医師会 令和4年11月代議員会議事録

と き：令和4年11月22日（火） 午後7時～7時50分

ところ：総合医療センター さくらルーム

出席者：細井 雅之 半羽 宏之 根引 浩子 上川 禎則 檜垣 史郎
喜多村祐里 出雲谷恭子 山口 利昌 鈴木 真司 藤丸 李可
廣川 秀徹 栗原 敏修 斎藤 三佳 森川 貴 宮保 浩子
村田佳津子 山上 啓子 中井 隆志 清水 貞利 金本 巨哲
(20名)

堂免 荘八 山下 直子（事務局）

委任状提出：

吉田 葉子 寺川 由美 日浦 義和 岡田めぐみ 中田 真一
川崎 靖子 平林 円 温井めぐみ（8名）

〈委員会報告〉

- ・会長報告 10月度郡市区等医師会長協議会での内容を報告
- ・委員会報告
○広報委員会 会報第146号を発行

〈議題〉

- 1) 大阪市役所医師会健闘賞、会長賞 選考規約案 / 選考委員会について
10月の代議員会での意見を踏まえ、内容を見直し変更した。
- 2) 在阪5大学医師会役員・2行政医師会役員との懇談会について
- 3) レジデント・研修医研究支援の論文支援について
 - ・今昨年度申請の消化器内科レジデントの論文支援について
 - ・学術集会での発表について
- 4) その他
 - ・12月の代議員会は、検討議題がない場合は開催中止

大阪市役所医師会 令和5年1月代議員会議事録

と き：令和5年1月25日（水）午後7時～7時40分

ところ：総合医療センター さくらルーム

出席者：細井 雅之 根引 浩子 上川 禎則 宮保 浩子 藤丸 李可
出雲谷恭子 村田佳津子 山上 啓子 金本 元勝 寺川 由美
日浦 義和 藤野 光洋 栗原 敏修 日高 典昭 山口 利昌
天羽 清子 金本 巨哲（17名）
堂免 荘八 山下 直子（事務局）

委任状提出：

安達 高久 喜多村祐里 半羽 宏之 檜垣 史郎 斎藤 美佳
中田 真一 平林 円 温井めぐみ 鈴木 真司 廣川 秀徹
八木 敬子（11名）

〈委員会報告〉

- ・会長報告
- ・委員会報告

○学術委員会から

8月の学術集会の特別講演講師推薦依頼

〈議題〉

- 1) 大阪市役所医師会MVP2022 選考基準（案）について
 - 2) 市役所医師会後援等依頼案件について
 - ・「令和4年度 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修」の後援について（大阪市福祉局）
 - 3) その他
 - ・令和5年度大阪市役所代議員会開催予定について
 - ・「ご協力をお願い」について（大阪府医師協同組合から依頼）
 - ・女性医師の会から
- 3月3日、特別講演会を開催予定。参加要請

大阪市役所医師会 令和5年2月代議員会議事録

と き：令和5年2月21日（火）午後7時～7時50分

ところ：総合医療センター さくらルーム

出席者：細井 雅之 半羽 宏之 根引 浩子 上川 禎則 日浦 義和
村田佳津子 山口 利昌 山上 啓子 森川 貴 藤丸 李可
金本 巨哲 出雲谷恭子 中井 隆志 天羽 清子 清水 貞利
廣川 秀徹（16名）
堂免 荘八 山下 直子（事務局）

委任状提出：

八木 敬子 温井めぐみ 岡田めぐみ 吉田 葉子 平林 円
栗原 敏修 檜垣 史郎 寺川 由美 喜多村祐里 斎藤 美佳
鈴木 真司 日高 典昭（12名）

〈委員会報告〉

会長報告

郡市区等医師会長協議会の内容報告

〈議題〉

- 1) MVP2022選考基準（案）について
- 2) 令和4年度決算見込及び令和5年度予算案作成について
- 3) 第60回学術集会特別講演講師について
- 4) その他

・女性医師の会から3月3日特別講演会開催。参加要請。

大阪市役所医師会 令和5年3月代議員会議事録

と き：令和5年3月22日（水）午後7時～7時40分

ところ：総合医療センター さくらルーム

出席者：細井 雅之 根引 浩子 上川 禎則 廣川 秀徹 日浦 義和
吉田 葉子 中井 隆志 藤丸 李可 村田佳津子 栗原 敏修
森川 貴 檜垣 史郎 清水 貞利 鈴木 真司 金本 元勝
喜多村祐里 出雲谷恭子 日高 典昭 山口 利昌 金本 巨哲
(20名)

堂免 莊八 山下 直子（事務局）

委任状提出：

平林 円 八木 敬子 岡田めぐみ 中田 真一 宮保 浩子
寺川 由美 齊藤 三佳 温井めぐみ 山上 啓子 藤野 光洋
半羽 宏之（11名）

〈委員会報告〉

会長報告 3 / 8府医勤務医部会の内容報告
市医学会の内容報告

〈議題〉

- 1) 令和5年度予算（案）について
- 2) 第60回学術集会特別講演講師について
大阪公立大学医学研究科の植松智教授に決定し、教授から受諾を得た
備品購入依頼（レーザーポインター、無線マウス）
- 3) 「MVP2022」選考について
- 4) その他

お知らせ

会員名簿について

会員名簿については、大阪市役所医師会ホームページ <http://www.ocma.jp/> の会員専用ページに掲載しております（昨年度は更新できず、申し訳ありませんでした）。会員専用ページ閲覧に必要な ID とパスワードは令和 5 年 6 月 1 日に更新予定ですので、5 月中に事務局より先生方に通知させていただく予定です。

会員情報を各自ご確認いただき、修正必要箇所がありましたら、恐れ入りますが事務局までメールにてお知らせください。年度途中で退職予定の方は、退会届を事務局にご提出ください。その他、会員の転入・転出・異動があればご一報くださいますようお願いいたします。

大阪市役所医師会事務局の連絡先は、TEL 06-4792-7070、

メールアドレスは ishikai@oepra.or.jp です。

編集後記

大阪市役所医師会報 147 号が出来ましたのでお届けします。先生方にはお忙しい中原稿をお寄せいただきありがとうございました。

細井会長の肝いりで第 1 回大阪市役所医師会 MVP 受賞者が選定されました。優劣ではなく、それぞれの場で活躍されている先生方のご様子が、他部門の仲間にも認識されるよい機会だと思います。学術集会でも、各部門の取り組みを、ぜひとも積極的にご紹介ください。

また、レジデント・研修医研究支援規定につきましても、これからもどんどんご活用ください。

当会報やホームページでは、その他の学会・イベントのご案内、研究論文、留学・研修記などの原稿、季節の写真等を受け付けておりますので、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

出雲谷 恭子 記

令和5年度
大阪市役所医師会学術集会のお知らせ

日時：令和5年8月26日(土) 午後2時～

場所：大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール

<特別講演>

講師：植松 智 先生

大阪公立大学大学院医学研究科・医学部・ゲノム
免疫学・教授 / 東京大学医科学研究所ヒトゲノム
解析センターメタゲノム医学分野・特任教授

**「腸内細菌のメタゲノム解析を基盤とした
疾患診断法と治療法の開発」**

